

議会へ行こう!!

平成21年度より、議員自らが議場やトイレ掃除を行っています。



「論ずるだけでなく実行実践を願う」

横田 勝彦 (留萌市見晴町4丁目)
留萌出身の高橋定敏氏が、道議会議員から留萌市政立直しのため留萌市政に勇気を持って転換された事に、敬意を感じた一人です。市民の大多数の人は、私と同様の気持ちだと思います。それがこの度議会傍聴に行き、複数の議員からの市長二期目出馬の決意の質問に、市長からの答弁はあまりにも消極的な答えに、市長の心底奈辺に有るのかと少なからずがっかりした次第です。一期目は前市政の継承整理で、二期目こそ高橋市政の発揮しどころではないでしょうか。

また、傍聴して感じた事は、各議員諸氏の総括質問論文読み上げが長過ぎると思います。質問事項は事前に市側に提出されてあるのですから、質疑討論にもう少し真剣活発にやってほしいと感じました。議員は台本通りの質問、市側の答弁も台本通り読上げて、理解して下さいで反対尋問も無く終わる会議に、私は少なからず歯痒さを感じました。議員諸氏が質問ばかりでなく、今留萌には何が必要で何をやらなければならないかを市側に進言遂行されん事をお願いする次第です。

参考一言。会場のスピーカー、出る音声が質悪く、言葉の明瞭度が損なわれ聞き取りにくい事が度々有りました。

「身近に感じる議会目指して」

佐藤 泉 (市立留萌図書館職員)
留萌が好きですよ。育った街だもの。約十年離れていた街だけれど、帰ってきましたからね。離れていた期間があるからこそ、この街の魅力がよくわかるんだと思います。海があって自然があって、寛げる街。でも…知らなかった。この街をよくするために政治を司っている場所すら。このたび議会を見に行くきっかけとなったのは、上司の誘いでした。ふと気がついたのが、議会って、一体どこでやってるの？ どんどこころなの？ 私ったら全くわからない。傍聴の仕方を教わり、資料をもらって、すっかりおのぼりさん気分でした。議会が始まってからは、内容の予習をしてくるんだったなあと思いました。わからない言葉もあり、留萌の現状を知ったうえで傍聴したらもっと興味深く聞けたのというのが感想です。

私はこの議会の開催についてちょっと考えてしまいました。留萌市民のどれほどが、議会を市役所の三階でやっているの？ 傍聴席って、こんな少ししかないの？ 平日の昼間からだもの、そりゃ傍聴できないわよね。向こう側にたくさん人がいるけれど、あの人たちは何をやっているの？ ビデオ撮ってるけど、何に使うの？

「掘り下げた、泥くさい論戦をのぞむ」

藪田 淳 (留萌市宮園町2丁目)
12月7日は第4回定例会を久しぶりに傍聴する機会を持った。傍聴席はやや満席、会議場は凜とした、張りつめた空気の中議事は整然と進行していた。

自分が暮らしている故郷留萌市が、現在どんな問題を抱えているのか、どうなるんだろうか、不安を抱き、心配もあり見届ける意味もあり足を運ばせた。

一般質問通告を見てもわかるように、今回の定例会は財政健全化計画の取り組みがメインの様に見える。留萌市立病院の経営状況については、理事者側から病床数と数値目標について説明があったが、答弁を聞いている側としてはよく理解できなかった。質問者の真剣さに反し、理事者側は延々と説明している割にはうわべだけのやりとりがスムーズであると思った。傍聴人としてはいただけなかった。現在はどうか、将来的な見通しはどうか、具体的な掘り下げがほしかった。

小さな問題かもしれないが、最近来院者の数が少ないと言うことでバス通行がなされるようになった結果、落ちこんでいた外来患者数はどうか、今や市立病院の立場、役割は大きく期待されている。

財政の健全化を論じる前に、市政として今何が欠如しているのか、将来ビジョンを明確にし、充分意見を戦わせ、納得した上での行政を望む。

終わりに、地域の協議の力を活用し、官・民が一体となり街の再生を心掛ければならない現在である。市民の一人として他人まかせはいただけない。自ら市政に参加する機会を作っていくと強く感じつつ帰路についた。議員の皆様、財政逼迫(ひっばく)の折、めげずに頑張ってください。舵とりよろしくお祈りします。

将来を担う若者たちが、まず興味を持つためには、どうしたらいいのか？ そればかりを考えました。私のように、ほんの少しだけ興味がある人間は、今回の私のように、何かの小さなきっかけで議会傍聴に出掛け、ひいては深く興味を持つこともできるはず。でもたいていは、少しの興味が敷居の高さに負けてしまいます。

図書館のことを知ってもらうための、図書館ツアーがありますが、議会でも行ったらいいんじゃないかな。高校の政治経済の授業で議会の見学に行けないから？ 議会が思いの外身近であることを、若いうちから知ってもらってはどうかしら？ …と、そんなことばかり考えていた傍聴でした。

また行きたいかという、あの、あらかじめ準備された質問に、あらかじめ答えを書いておいた紙を読む感じがなければ、もっとおもしろいのに。議員さんが全部の質問をいっぺんに読んで、答える側も全部答える。あれは、もう読み上げる必要がないように見えます。今読んでる紙を見せて、と言いたくなります。最初から一問一答にして、時には答えに詰まるようなことがあればおもしろい。そういう時の方が、人間の本音が出るわけですから。

議会です こんにちは

もくじ

- P 10 平成21年第4回定例会議決事項
- P 11 「議会へ行こう」
- P 12 ルポルタージュ第5弾「廃校舎」
- P 13 ルポルタージュ第5弾「廃校舎」
- P 14 こんなことが知りたいよねーその6
- P 15 常任委員会の動き
- P 16 第4回定例会一般質問項目
- P 17 新監査委員、新選挙管理委員長紹介言葉の意味、あとがき

第4回定例会(11月30日から12月9日)で可決されました議案15件、意見書案9件、陳情審査報告の内容をご紹介します。

議案

- 平成21年度留萌市一般会計補正予算(第7号)
- 平成21年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市特別職員給与条例の一部を改正する条例制定について
- 市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市後期高齢者医療に関する条例及び留萌市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌広域行政組合格約の変更について
- 留萌広域行政組合の解散について
- 留萌広域行政組合の解散に伴う財産処分について
- 北海道市町村備荒資金組合を組織する地方公共団体の数の増減について
- 北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の増減について
- 留萌市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

意見書案

- 道路の整備に関する意見書
- 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書
- 緊急経済対策の早期実施を求める意見書

- さらなる緊急雇用対策の実施を求める意見書
- エコポイント制度並びにエコカー補助金の継続実施を求める意見書
- 子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書
- 地域のくらしを守るための国の予算執行及び予算編成を求める意見書
- 新たな食料・農業・農村基本計画に関する意見書
- 平成22年度戸別所得補償モデル対策および関連政策に関する意見書

◎第1常任委員会審査結果報告<陳情第1号>

留萌市神居岩公園パークゴルフ場利用料金の設定額の一部改定並びに弾力的運用、コース施設(あずま家)の設置に関する陳情は、不採択とする。

(不採択要旨)

1983年、北海道幕別町において誕生したパークゴルフは、子どもからお年寄りまで誰もが手軽に、気軽に楽しめる身近なスポーツとして人気が高く、愛好者は道内だけで60万人、全国においては100万人以上いるといわれ、各地で大会が開かれるなど、今や人気は全国に広がっています。

留萌市内にも愛好者は多く、浜中運動公園や神居岩公園、そして昨年オープンした船場公園と、それぞれのパークゴルフ場でプレーを楽しむ愛好者の姿が多く見受けられます。

さて、この度、留萌市議会に提出された本陳情書については、一部考慮すべき点はあると思いますが、現在、財政再生団体への転落回避や地域医療を確保するため、留萌市全体が一体となり、今年度からの7年間に亘る財政健全化に取り組んでいることから、市の負担増となる料金設定額の改定や弾力的運用、施設の設置などについては、現時点では難しいと判断し、よって陳情要旨は不採択とします。

なお、神居岩公園パークゴルフ場は、本年9月30日付けで、国際パークゴルフ協会公認コースに認定されましたことを申し添えます。

議会広報特別委員会レポート (12月14日取材)

第5弾

留萌市内の廃校舎と利活用



児童数の減少などにより閉校を余儀なくされた留萌市内の小中学校は、当時の賑わいの影もなく、古びた校舎はもの悲しい寂しい光景となってしまっています。自治体の財政難は、取り壊すお金もなく、利活用するための予算も維持経費も捻出できずに廃校舎の行方が全国的な課題となっています。そこで、廃校となった施設状況と利活用の現況、今後の計画について、留萌市教育委員会学校教育課長の福士廣志課長にインタビューしました。

留萌市における小中学校の児童生徒数は昭和36年の8,494人をピークに過疎化・少子化の進行により減少を続け、平成21年5月現在1,755人となっています。

小中学校の数もピーク時に小学校13校、中学校5校あったものが、現在小学校8校、中学校3校まで減少しております。この50年間に児童・生徒数が6,739人が減少しており、小学校5校、中学校2校が統廃合されました。

その結果、廃校舎として現在も残っているものは統廃合順に中幌糠分校、樽真布小中学校、藤山小学校、礼受小学校、幌糠中学校であり、中幌糠分校と樽真布小中学校の校舎は老朽化が著しく利活用は困難な状況にあります。



中幌糠分校舎全景

【中幌糠分校】 明治33年4月1日開校
昭和58年3月31日閉校
校舎 昭和38年11月竣工



樽真布小中学校舎全景

【樽真布小中学校】 明治38年11月17日開校
平成4年3月31日閉校
校舎 昭和41年3月竣工 屋体 昭和41年5月竣工

旧藤山小学校については閉校後、旧藤山小学校校舎及び敷地内利用運営委員会との間に管理委託契約を締結し活用を図っています。校舎はアマチュアバンドの練習などで活用されていますが、老朽化が一段と進んでいます。

【藤山小学校】 明治33年7月15日開校
平成15年3月31日閉校
校舎 昭和36年10月竣工
屋体 昭和36年7月竣工



藤山小学校舎全景

旧礼受小学校については、その一部を昨年10月から来年3月まで、「不用家具等リサイクル事業」で美サイクル館に持ち込まれた不用家具の修復作業場として活用しておりますが、建築から約半世紀が過ぎ、老朽化が進んでいます。

【礼受小学校】 明治17年11月1日開校
平成18年3月31日閉校
校舎 昭和36年5月竣工
屋体 昭和35年3月竣工



礼受小学校舎全景



不用家具を修理、販売するリサイクル事業



美サイクル館から持ち込まれた不用品が並ぶ廊下

旧幌糠中学校については昭和62年に建築された鉄筋コンクリート造りの建物で、耐震性も確保されています。その利活用については、色々な方法を模索している最中です。本年はNPO法人イムノサポートセンターとNPO法人留萌観光協会の協力を得て、試験的にヘルスツーリズムの宿泊施設として利用しました。今後もどのような様な利活用が可能かを模索していきます。

【幌糠中学校】 昭和22年5月10日開校
平成19年3月31日閉校
校舎 昭和62年12月竣工



体験観光などで訪れた子供達などに昭和30年代の生活のようすを味わってもらう昔風景コーナー



ピアノが置かれた多目的ホール



シャワー室



畳がひかれた宿泊スペース

常任委員会の動き

第1常任委員会

《平成21年10月14日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

- 留萌市職員採用試験の実施について
- 行方不明者捜索活動報告について

【産業建設部】

- 都市計画道路「見晴通（仮称）」の整備について（計画スケジュールの見直し）

【教育委員会】

- 三泊小学校の閉校に至るまでの経過
- 留萌市神居岩公園パークゴルフ場利用料金の設定額の一部改定並びに弾力的運用、コース施設（あずま家）の設置に関する陳情

《平成21年11月4日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

- 留萌市定額給付金の給付結果について
- 留萌市子育て応援特別手当の支給結果について

【陳情事項】

- 留萌市神居岩公園パークゴルフ場利用料金の設定額の一部改定並びに弾力的運用、コース施設（あずま家）の設置に関する陳情

《平成21年11月17日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

- 留萌市収納対策本部の活動状況について
- 平成21年度留萌市一般会計補正予算について
- 留萌市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 人事院勧告による給与条例等の一部改正について

【政策経営室】

- 市政懇談会「みんな一緒にまちづくり」開催結果について
- 「市民満足度アンケート2009—市政懇談会—」について
- 留萌広域行政組合規約の変更について
- 留萌広域行政組合の解散について
- 留萌広域行政組合の解散に伴う財産処分について
- 平成21年度補正予算説明資料について
- 北海道市町村備荒資金組合を組織する地方公共団体の増減について

【産業建設部】

- 平成21年度除雪計画について
- マサリベツ川改修事業の完了について
- 平成21年度補正予算農業経営基盤強化資金利子負担金について

【教育委員会】

- 市立中学校3年生徒の強盗傷害事件について
- 新型インフルエンザの状況について
- 市立留萌図書館見晴分館の開館について
- 市立留萌図書館の利用状況について
- 食育推進のリーフレットについて
- 平成21年度補正予算・学校給食センター業務委託（債務負担行為設定）について

※委員会では議案提出予定として説明したが、その後の協議が整わず12月議会へは提出しなかった。

「第1常任委員会」（人・まちづくり委員会）
「第2常任委員会」（くらし・健康づくり委員会）

第2常任委員会

- 《平成21年10月20日開催》 勉強会及び視察
- 留萌市役所ホームページの現状と地域活性化・緊急安心実現総合対策事業「るもい水産加工ブランド力強化事業」情報発信サイト「FAR RUMOI」
<http://rumoi-rasisa.jp/>について確認
 - 留萌港三泊埠頭～三泊地区埋立用地視察



《平成21年10月20日開催》 報告及び審議事項

【市民生活部】

- 留萌市地域公共交通活性化協議会の進捗状況について
- ・平成21年3月2日第1回協議会（設立総会）
- ・3月9日、地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画認定申請提出（国土交通省北海道運輸局長宛て）
- ・6月9日、市議会において当協議会への貸付金300千円を議決
- ・7月3日、第2回協議会開催
- ・8月21日、第3回協議会開催
- ・8月24日、町内会との試験運行協議
- ・10月8日、市内路線バス乗降調査（春日町～市立病院線）（日東団地～市立病院線）

【健康福祉部】（勉強会）

- 新型インフルエンザへの対応について
- ・感染疑いのある患者数（10月16日現在で、幼・小・中・高累計285人）
- ・国～北海道の新型インフルエンザ対策行動計画を受けてからの留萌市の対応について
- ・ワクチン優先接種対象者と接種スケジュール
- ・ワクチン接種費用、受託医療機関リストについて

《平成21年11月18日開催》 勉強会

【市民生活部】

- 平成21年度留萌市補正予算（案）について
- 留萌市後期高齢者医療に関する条例の一部改正（案）について
- 北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数を減少する議案について
- 聴覚障害に係る身体障害者手帳返還者に対する重度医療給付の返還について（報告）
- 第1回一般廃棄物最終処分場評価委員会の開催結果について（報告）

【健康福祉部】

- 平成21年度留萌市補正予算（案）について
- 留萌市介護保険条例の一部改正（案）について

【市立病院】

- 平成21年度職員数について
- 平成21年度患者集計表について

私たちのまちのこんなことが知りたいよねー

留萌市の財政や政策についてもっと知りたいこともあるという市民の方の疑問の声に応えるため“こんなことが知りたいよねー”企画をお届けしています。

その6



●政権交代後、国家予算について“仕分け人”が事業の必要性について厳しく検証している様子がテレビで放映されていましたが、留萌市の予算は、どのような流れで組み立てられるのですか？一年間の流れを分かりやすく教えてください。



知りたいねー子さん
(市民代表)



おしえたる男さん
(財務課長さん)



- 留萌市の予算編成について基本的な事柄を説明いたします。
- ・予算は、市の1年間の仕事の計画書です（仕事を歳入歳出の経費で表すもの）。
- ・留萌市では、第5次留萌市総合計画（H19-H28）を基に、新・留萌市財政健全化計画（H21-H27）による財政運営の制限の中で予算編成を行っています。
- ・“政策的経費”（投資的経費、補助金・助成金、臨時的政策経費）と“経常的経費”（義務的経費、一般行政経費、繰出金、など）の2つに分けて編成しています。
- ・成果指標による達成度をもとに前年度の仕事の結果（成果）を評価し、次年度に向けた新たな政策課題の解決も加え、仕事の見直し、新規要望などを整理し、次年度の予算（仕事）を組み立てます。
- ・毎年度財務課では予算編成方針を庁議を経て策定し、各課へ通知します。
- 平成22年度予算編成の重点項目は次の4点です。
- ①救急・小児・周産期など地域医療の確保（健全化計画）
- ②子どもや高齢者が安心して暮らせるための配慮（健全化計画）
- ③経済の活性化と社会基盤の維持（健全化計画）
- ④地域力を高め、協働のまちづくりの推進（政策課題）



予算方針策定まで多忙な日々が続く財務課の皆さん

●おおまかなスケジュール（基本形）

	政策的経費	経常的経費	22年度予算編成
5月末	出納閉鎖（前年度の仕事が完了）		
5月～6月	総合計画に基づき、市民満足度調査のほか成果指標の推移を整理		
7月～8月	成果指標の成績（増減）を参考に、前年度の仕事を各課で自己評価		市長選挙で骨格予算編成となるため、9月末に発表
10月末	新年度に向けた予算編成方針の策定と発表、政策的経費の重点項目や経常的経費の各部ごとの一般財源の枠配分を示す		
11月末	各課から予算要求資料の提出（企画調整課）	各部ごとで内部調整し、予算要求（財務課）	11月～12月で、経常的経費の財政査定を実施
12月～1月	企画調整課と財務課でヒアリング（事務事業の内容、目的、成果などから優先度を整理）	財務課で査定（事務事業の内容、目的、数量などを確認し、予算額を調整）	政策予算の取りまとめ、市長査定、議会日程などは未定（12月末現在）
2月上旬	市長査定を経て、市の予算案確定		
2月中旬～下旬	市議会の常任委員会などで新年度の予算案（事務事業の内容）について説明		
3月上旬～中旬	市議会定例会（予算審査特別委員会）で新年度予算について審議——本会議で議決		
3月末	予算執行方針を発表		
4月1日	新年度予算の執行（新しい仕事の開始） 広報るもいなどで市民へお知らせ（説明）		

平成21年第4回定例会

一般質問の項目のみ 紹介いたします

村山ゆかり 議員 (萌芽クラブ)

- 留萌市立病院の魅力づくり
(1)経営状況と病床数
(2)DPC導入後のプラス効果
(3)信頼関係構築のための取り組み

2 留萌コホート研究

- 介護・疾病リスク早期検出調査事業

3 支庁制度改革と地域政策

- 健康産業振興と一次産業振興政策

4 高橋市政の検証と2期目への意欲

- 財政健全化計画の取り組み状況
(2)行政と事業者の信頼関係
(3)まちづくりの核と「人づくり」政策

野崎 良夫 議員 (民主・市民連合)

- 高橋市政の4年間と2期目について
(1)政治スタンスは
(2)行政執行の感想と評価は
(3)市長選2期目への展望は

2 市立病院の経営について

- 数値目標の見込みは
(2)病床検討の結論は

3 各種審議会条例について

- 法的拘束力は

2 根拠法との関連は

- 都市計画審議会条例は

4 留萌ブランドについて

- 戦略を持った取組みは
(2)農林水産省の支援事業との関連は
(3)地域的ブランドづくりは

珍田 亮子 議員 (萌政会)

- 市政運営
(1)市長の自己評価と再選にむけての決意
(2)財政健全化計画・病院改革プランについて
(3)地方分権に向けた市政運営について
(4)市民参加条例・行政評価システムについて
(5)犯罪被害者ケアの体制整備について

1 市政運営

- 市長の自己評価と再選にむけての決意

2 財政健全化計画・病院改革プランについて

- 地方分権に向けた市政運営について

3 市民参加条例・行政評価システムについて

- 犯罪被害者ケアの体制整備について

2 道路整備計画について

- 見晴通について

3 子ども施策

- 後期次世代育成プラン・社会的養護体制の充実について

留萌市の環境政策

- 地球温暖化防止対策・CO2削減努力について
(2)民生家庭部門のCO2削減

坂本 茂 議員 (共産党)

- 国民健康保険について
(1)短期保険証、資格証明書発行の内実と対策
(2)減免制度の積極活用で国保税を納め易く
(3)国保会計に占める医療費引き下げの取り組み

2 広域ゴミ処理計画について

- 生ゴミ・資源再生など各種ゴミ処理計画の進捗状況と住民参加
(2)「バイオマスタウン構想認定」との連携

3 市立病院について

- 「改革プラン」の進捗状況と実施初年度の達成見通し
(2)公営企業法全部適用病院としての病院の組織機構について

4 農業と農家経営について

- 低温・長雨による被害状況と対策
(2)改正農地法と日米FTAから農地と経営を守る

1 都市計画道路「仮称」見晴通について

- 都市計画道路の素案と「見晴通」の整備計画につ

坂本 守正 議員 (民主・市民連合)

- 都市計画道路「仮称」見晴通について

減と省エネ活動について
(3)M.M.C.Sの取り組み状況と推進協議会について
(4)環境教育・子どもエコクラブ」の活動推進について

菅原千鶴子 議員 (民主・市民連合)

- 市立病院について
(1)DPCスタート後に見えた問題点について
(2)沖見診療所の稼働量について
(3)病床利用率と今後の課題について

2 救急外来の対応について

- 学力テストを終えて

3 学校生活と生徒指導

- 行政の果すべき役割

3 まちの変貌と今後

- ラルズ撤退後のまちづくりについて
(2)匠の駅と行政施策の融合

天谷 孝行 議員 (留萌公明党)

- 「市政懇談会」での市長発言について
(1)これまでの市政に手ごたえ
(2)「みんな一緒に街づくり」の理念
(3)今後の留萌が進む方向を明示

2 新政権の予算見直しで想定される留萌市の影響

- 子育て応援特別手当の執行停止
(2)「子ども手当」の財源確保と負担増の不安感
(3)その他の停止・廃止事業

3 21年度病院会計予算の現況について

- 収支の均衡が最大の目標
(2)市民の需要に応える病院の機構

ごあいさつ 監査委員

「市民と共に」



国レベルでは、政権交代がなされ、事業仕分け作業等から徹底的な予算の見直しが行われ、新年度予算編成作業が終了しました。

留萌市でも、早くから行財政改革に取り組み、事業評価制度等を導入するなど、新しい財政健全化計画に基づいた行政運営が推進されています。

こうした中で、「自治体財政健全化法」が公布され、財政の健全化に関する比率の公表義務が発生しました。いわゆる「財

監査委員 祐川 正幸

政再生団体」に陥らないための努力が益々必要になりました。監査委員は、従来の監査等に比べ、二年前より、この健全化判断比率、更に企業会計の資金不足比率の審査も行うことになりました。財政悪化は結局、住民の負担増につながり、行政サービスの低下に拍車がかかります。そうならないためにも、自治体の状況をチェックし、市民の皆様と行政活動を点検していきたいと思っております。今後四年間よろしくお願いいたします。

「公正な事務執行」



留萌市選挙管理委員会 委員長 水澤 清

退職1年後の平成17年9月市議会の指名推選により、選挙管理委員に選出されました。右も左もわからない世界でしたが、委員長はじめ他の委員・事務局職員に支えられ任務に携わって参りました。そして21年10月21日付で、委員会の互選により委員長を仰せつかりました。

まことにその器ではございませんが、皆様のご指導とご鞭撻をいただきながら、選挙が民主的かつ公正な事務の執行がな

この言葉の意味は？ 最近気になる行政用語の解説をいたします

「病床・病棟」について

病院の入院ベッドは、結核病床、精神病床、感染症病床を除き、主に急性期の疾患を扱う『一般病床』と主に慢性期の疾患を扱う『療養病床（＝長期医療）』に大きく区分され、建物の構造設備や医療スタッフの配置基準にも違いがあります。

『一般病床』には、「急性期病棟」と「亜急性期病棟」が含まれ、急性期病棟では、基本的に短期入院で重点的・高密度な入院医療、亜急性期病棟では、急性期を過ぎた後だけでなく、疾患程度により適切な入院医療が受けられます。

近年では、ケアミックスと言われる院内・病棟単位での『一般』と『療養』の併設や介護保険対応の「介護療養型医療施設」への転換・併設も進んでいます。



議会広報特別委員会から

高橋市政1期目最後の12月議会、今年2月に迫った市長選挙に対する高橋市長の去就が目撃されました。2日間に亘る一般質問、8人の議員のうち4人が市長の出馬について質しました。市長答弁の文脈からは、2期目に対する意欲は何えるものの、「私の市民党市長としての市政運営に臨む考えを後援会の皆さんにお示しをし、ご相談させていただきながらできるだけ早く判断してまいります」の一点張り、遂に出馬の意思を明確に引き出すことは出来ませんでした。25,000人市民の声の代弁しす選良としては、なにかもどかしさを感じる師走議会でもありました。

委員長 村山ゆかり／副委員長 村上 均
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹

留萌市議会事務局

TEL 0164・42・1907 (直通) FAX 0164・43・6700
E-mail rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp